

散歩は楽しい～!

イラストレーター

すずきもも



ある日、公園の緑の中でお茶を飲んでいたら、こんなフレーズが頭に降ってきました。「お散歩するように生きよう～のんびり自分らしく生きよう～」

それまでの私は少し自分よがりな若さゆえの生意気さがあって、おまけに完全にワーカホリックでした。イラストレーターはもちろんですが、広告制作もその頃はやっていて、仕事中心の毎日が当たり前で、寝る暇もありませんでした。そんな生活なので四季の移り変わりは感じるものの、ゆっくり愉しむ。なんてことに、ほとんど興味を持つことに考えもしなかったころでした。

それが変わったのは、子どもを授かってから。

自分より仕事より優先されるべき存在があって、はじめて心から呼吸ができた感じがしました。ゆっくり呼吸してまわりを見渡すと、世界のなんと美しいこと。この地球の美しさを子どもとじっくり味わいたい!と思ったのです。ちょっと大げさな感じもしますが、地球の美しさは家の近所でも味わえるのです。だって、私たちが住んでいる街も地球上にある場所なのですから…

それからは暇があると家の近くをお散歩しました。赤ちゃんのときは抱っこをして、歩くようになってからは手をつないで。たまたま、近所に近代美術館や知事公館があったので、そこまで北1条通りをてくてく歩いて行きます。

北1条通りは北海道神宮の表参道らしく、いつも爽やかな風が吹いているような気がします。(最

近は交通量がどんどん多くなっているような気がしますが…) この沿線に住むようになってから、かれこれ23年くらい経ちますが、大好きな通りです。この通りを毎日、子どもと歩きました。私は仕事を続けていたので、夕方子どもを迎えに保育園へ行き、大倉山の横っちょに夕日が沈むとき、夕日に照らされながら夕焼け小焼けを、小さな声で歌いながら子どもと手をつないで家に帰ったり、朝は、知事公館の中を散歩しながら保育園に送っていったり、休みの日にはおやつやお弁当を持って近代美術館や円山公園、円山動物園(北1条ではないですが)へ、暇さえあれば散歩に通いました。そして、その道すがら見つける植物や木の実、木の葉っぱ、時折り聞こえる鳥のさえずり、雲の形、影の形、夕日の色、たまに見えるお星様、月の形、冬はそりに乗って、雪玉を作りながら歩いたり、子どもが小学校に上がるまでの6年間、毎日のように散歩を楽しみました。

子どもが小学校に上がり、毎日の散歩はなくなりましたが、土日の暇なときには散歩に出かけたくなってうずうずしてきます。

スケッチブックを持って公園へ行ったり、散歩の帰りに美味しいケーキ屋さんに寄ったり、ゆるやかでささやかだけどゆっくりな時間が何はなくとも、とても贅沢に思われた日々でした。

そんな日々も子どもが中学生になり、自分の活動に専念し始め、その前後に本の出版が決まりました。子どもとの散歩の時間はめっきり少なくなりましたが、やっぱり散歩はいいものです。

毎日見慣れた風景の中に新しい発見があったり、新しくできたお店などにふらりと入ったり、気ままに道を歩くのがとても面白い。

子どもと散歩三昧な日々が過ぎて、今は一人の散歩を楽しんでいます（夫は家でゴロゴロ派です。）私がどうしてこんなに、あっちこっち行くのが楽しくってしょうがないのだろうか？と、このエッセーを依頼されてちょっと考えてみました。

山の中で育った私は、片道2キロを毎日歩いて小学校に通いました。小学校の頃は毎日、お友達と道ばたで草を摘んだり、おたまじゃくしを採ったり、木の実や草花の蜜を食べたり、毎日、道草して帰ってきました。帰ってきたら帰ったで裏山へ探検しに行ったり、川っぺりで石を拾ったり、磨いたり、よく遊んだものです。

そんな楽しい原風景が自分の中にあったことが、大きな原因だったのかなあ。それと同じくらい好奇心の固まりのような子どもだったので、よく先生に注意力散漫と通信簿に書かれていたことを思い出しました。注意力散漫と好奇心旺盛なのは今も変わりませんが、たくさん道草をして楽しんでいたことが、子どもを持ったことで再度よみがえったのでしょうか。それで冒頭にあるフレーズが降ってきたのかも（笑）。

きっと子どもがいつか親になったら、忙しい毎日だったとしても、子どもとたくさん散歩をしてほしいと思うのです。歩くべき道がある限り、いつでもどこでも散歩はできるし、楽しめるものだから。

すずきもも

Profile

東京生まれ、北海道育ち。札幌大谷短期大学美術科デザインコース卒。広告や雑誌を中心としたイラストレーションの制作の他、出版、壁画、雑貨製造、磁器絵付け等、多岐に渡って仕事をしている。またイラストレーターとして活動する傍ら、食の世界に足を踏み入れ、様々な分野で活動中。パンに焦点を絞って立ち上げた「だい好きパン会」は今年で12年目を迎え、小さいながらも充実した活動を行っている。他に、スローフードにもテーマを置き、街で生活しつつスローフード・スローライフの実践を試みている。



最近の著書に「さっぽろおさんぽ日和」(道新出版)がある。また、7月上旬に2冊目の著書「おさんぽ日和 さっぽろ近郊のほほん旅」を出版。

- だい好きパンの会 事務局長
- 北海道スローフードフレンズ帯広事務局
- 北海道イラストレーターズα会員



ふきわたる風